

日本農薬学会第33回大会プログラム

日時：平成20年3月30日（日）～4月1日（火）

会場：奈良県新公会堂（3月30日のみ）〒630-8212 奈良市春日野町101
近畿大学農学部 〒631-8505 奈良市中町3327-204

大会日程

3月30日（日）

奈良県新公会堂

総会および日本農薬学会賞授賞式

能楽ホール

10:00～12:00

1. 総会：会務報告、会計監査報告、議事
2. 日本農薬学会賞授賞式

受賞者講演

奨励賞

正木 隆男（日本農薬）

13:30～13:50

業績賞（技術）

氏原 一哉、松尾 憲忠、森 達哉

13:50～14:20

庄野 美徳、岩崎 智則（住友化学）

業績賞（研究）

実光 穰（東京農業大学）、河村 伸一（住友化学）

14:20～14:50

特別講演

中谷内 一也（帝塚山大学・教授）

15:10～16:10

David B. Sattelle（オックスフォード大学・教授）

16:10～17:10

懇親会・受賞祝賀会

レセプションホール

17:30～19:30

3月31日（月）、4月1日（火）

一般講演、シンポジウム、ランチョンセミナー

近畿大学農学部 奈良キャンパス

9:00～

平成20年度 日本農薬学会賞受賞者講演

3月30日(日) 奈良県新公会堂 能楽ホール

13:30 ~ 14:50

奨励賞

正木 隆男 (日本農薬)

「細胞内カルシウム動態のかく乱を特徴とする殺虫作用機構の研究」

(座長：赤松美紀)

業績賞 (技術)

氏原 一哉、松尾 憲忠、森 達哉、庄野 美徳、岩崎 智則 (住友化学)

「家庭用殺虫剤メトフルトリンの開発」

(座長：芳賀隆弘)

業績賞 (研究)

実光 稔 (東京農業大学)、河村 伸一 (住友化学)

「新農薬探索のための複素環化合物の合成法開発研究」

(座長：利部伸三)

特別講演

3月30日(日) 奈良県新公会堂 能楽ホール

15:10 ~ 17:10

中谷内 一也 (帝塚山大学・教授)

「リスク認知と信頼 —心理学からのアプローチ—」

(座長：元場一彦)

David B. Sattelle (オックスフォード大学・教授)

「Invertebrate nicotinic acetylcholine receptors: membrane molecules targeted by chemicals used to control insects and nematodes」

(座長：松田一彦)

シンポジウム

I. 農薬使用の現場で起こっていること ―古くて新しい問題―

3月31日(月) A会場(209教室)

13:30 ~ 17:30

オーガナイザー: 谷川元一(奈良県農業総合センター)

1. ポジティブリスト制度とドリフト対策 ―兵庫県での取り組み―
榎本拓司(兵庫県立農林水産技術総合センター) (座長: 内田又左衛門)
2. 残留農薬分析の信頼性確保 ―分析値の信頼性確保―
廣田政隆(住化分析センター 愛媛事業所) (座長: 天野昭子)
3. 野菜類の耐性菌の実態とその対策 ―大阪府の事例―
岡田清嗣(大阪府環境農林水産総合研究所) (座長: 石井英夫)
4. 滋賀県における麦類赤かび病の発生と防除対策
―DON汚染軽減対策への取り組みについて―
金子 誠(滋賀県農業技術振興センター) (座長: 田中千尋)
5. 化学農薬による防除の限界
國本佳範(奈良県農業総合センター) (座長: 丸山宗之)
6. 除草剤の特性を活かした獣害対策
―明確な意図をもった体系的雑草管理を考える―
井上雅央(近畿中国四国農業研究センター) (座長: 谷川元一)

II. 農薬ケミカルバイオロジーのフロンティア

(農薬バイオサイエンス研究会との共催)

4月1日(火) A会場(209教室)

13:30 ~ 16:00

オーガナイザー: 塩月孝博(農業生物資源研究所)

1. 昆虫の脱皮や変態をターゲットとする害虫防除剤
水口智江可(農業生物資源研究所) (座長: 中倉紀彦)
2. アレチオグルマ由来の生理活性物質
森本正則(近畿大学農学部) (座長: 山田直隆)
3. フェニルピロール剤により誘導される遺伝子群とその調節機構
山下和宏(東洋大学生命科学部) (座長: 有江 力)
4. 胆汁酸、スフィンゴ脂質によるイネの病害抵抗性誘導
古賀仁一郎(明治製菓) (座長: 本山高幸)

ランチョンセミナー

- 3月31日（月） 12:10 ~ 13:20
- I. 質量分析計の特徴とその用途 D会場（201教室）
 ~GC-MS, LC-MS (LC-IT/TOF), MALDI-TOF (QIT-TOF, TOF/TOF)~（島津製作所）
- II. Avian Acute Toxicity Testing with Passerine Species: A New Regulatory E会場（202教室）
 Requirement for U.S. Pesticide Regulation (Springborn Smithers Laboratories)
- 4月1日（火） 12:10 ~ 13:20
- III. SYBR Green Assay によるリアルタイム PCR D会場（201教室）
 ~多検体の遺伝子発現解析を快適に~（タカラバイオ）

弁当券（無料、先着 100 名）は当日大会受付にて配布します。

一般講演およびシンポジウム等の日程表

平成20年	A会場 (209 教室)	B会場 (211 教室)	C会場 (311 教室)	D会場 (201 教室)	E会場 (202 教室)
3月31日（月）					
9:00 ~ 12:00	分子設計	残留分析	生態影響		
12:10 ~ 13:20				ランチョンセミナー I	ランチョンセミナー II
13:30 ~ 17:30	シンポジウム I	残留分析 製剤 作用機構 (昆虫)	天然物		
4月1日（火）					
9:00 ~ 12:00	生物活性	代謝 環境動態	昆虫生理 作用機構 (微生物) (植物)		
12:10 ~ 13:20				ランチョンセミナー III	
13:30 ~ 16:00	シンポジウム II				